

# 安全上のご注意 必ずお守りください

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示(図記号)で区分し、説明しています。(下記は絵表示の例です)

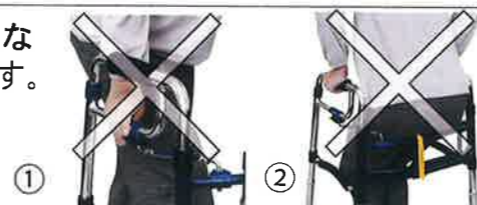
**!** 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

**⊘** してはいけない「禁止」内容を説明しています。

## 警告

- ご使用前に必ず各部の点検をし、異常のないことを確認してからご使用ください。  
各部の点検 ・折りたたみレバー・セーフティーロックレバーが確実にかかっていること。  
・各部のピン(伸縮ピン・高さ調節ピン)が確実にかかっていること。  
・ハンドルグリップが確実に固定されていること。  
・各部のねじ・リベットに緩みがないこと。

- 歩行する際は、①グリップ以外のパイプを持って使用しないでください。フレームが変形しケガの原因となります。
- ②フロントパイプに腰をかけた強い加重をかけないで下さい。フレームが変形したり、転倒しケガや重症を起こす原因となります。



- 偏った使い方をしないでください。転倒しケガや重症を起こす原因となります。歩行する際は、必ず左右均等に体重がかかるように十分注意してください。



- 平らな場所でご使用ください。
- 平らでない場所・階段や段差のある場所では使用しないでください。体が不安定になり事故の原因となります。
- 敷物の上や滑りやすい場所では特に注意してご使用してください。思わぬ事故の原因となります。
- 高さ調節パイプは全て同じ位置合わせてご使用ください。1つでも高さが違うと不安定になり事故の原因となります。
- 予測できない行動をとる、又は自力で危険な状態から回避する事が出来ない認知症の方がご使用の場合は必ず介助者が付き添い、安全を確認しご使用ください。
- 使用中に歩行器のガタつきが生じた場合は、直ちに使用を中止し販売店または当社窓口までご連絡ください。大きな事故につながる恐れがあります。
- この製品の最大使用者体重は100kgです。

## お手入れの方法

### ■清掃について

汚れがひどいときには中性洗剤または濡れた布でほこりを落とし、乾いた布で良く拭き取ってください。湿気を帯びたまま放置しますと傷むことがありますので、乾かして湿気を取るようになしてください。

**!** **注意** ●車体の清掃に中性洗剤以外の物を使用しないでください。部品の変質、劣化の原因になります。

**■点検について**  
グリップの磨耗、ネジの緩み、部品の破損、及び動作不良がないかを適時点検し、必要に応じて交換してください。

**!** **警告** ●車体の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、当社お客様ご相談窓口までご連絡ください。重大な事故につながる恐れがあります。

**!** **注意** ●交通量の多い場所や人の出入りが頻繁な場所は避けるか、介護の方が付き添ってください。  
●危険ですからむやみに改造や分解をしないでください。故障やけがの恐れがあります。

## 歩行器の正しい使い方



- 片側(右又は左)に力が掛からないように、両手同時にグリップをつかんで下さい。
- ①歩行器に体重を掛けずに少し前方に移動させてください。(後脚がスタンドタイプの場合は後脚を少し浮かせて、移動させてください。)
  - ②歩行器を持ち上げ、少し前方に移動させて歩行してください。
- 真上から体重が左右均等に掛かるように、前進してください。

**!** **警告** 誤った使い方をしないでください。転倒しケガや重傷の恐れがあります。

## ① 組み立て方・折りたたみ方



- 組み立てる時は、両サイドのグリップを握って写真(②)のように広げてください。この時、両サイドの折りたたみレバーが掛かっている事を必ず確認してください。
- 折りたたむ時は、折りたたみレバーを引き(写真③)前方に回転(写真④)させてください。  
※折畳み可能位置は、フロントパイプのステッカーに明記しています。

## ③ 幅調節の仕方



- ①幅調節をする時は、セーフティーロックレバーを解除してください。
- ②写真(②)のように、伸縮ピンを押さえ両サイドのパイプ動かして調節してください。
- ③位置が決まったら必ずセーフティーロックレバーを掛けてください。

## ④ 高さ調節



固定リングを緩め、高さ調節ピンを押さえ脚を上または下に動かしてください。

## ⑤ グリップ交換のしかた



グリップを交換する時は、リングねじが緩んだら図矢印の方向にリングねじを緩めてください。  
リングねじが緩んだら図のように内側に回転させてください。  
後方に引けば取り外せます。取付け方は、逆の手順で行ってください。  
※右・左あり間違わないように取付けてください。

## 各部の名称



## ② ハンドル角度調節



- ハンドル角度調節は、ハの字型に90~105度まで調整できます。(Mタイプは97.5度)ご使用者のお気に入りの角度でご使用してください。

**!** **警告** 角度調節は目盛り範囲内で行ってください。範囲外でご使用されますと転倒する恐れがあります。ご注意ください。

## ■アングルバンド(ハンドル角度)の調節方法



- ①ハンドル角度調節は、ターンバックル両端のナットを付属品のスパナで時計回り(写真①)に回して緩めてください。ターンバックルを反時計回りに回転させるとハンドル角度が広がります。位置が決まったら、両サイドのナットを指でターンバックルに接触するまで締め付けた後付属工具のスパナでターンバックルが動かないように締め付けてください。ハの字型に90~105度まで調整できます。(Mタイプは97.5度)ご使用者のお気に入りの角度でご使用ください。

**!** **警告** ターンバックルに力を加えないでください。故障の原因となります。

## 警告

- 組立てが完了したら、必ず各部の点検を行ってからご使用ください。